

# 月刊 一辺境

Magazine for everyone who loves SUISEI Inc.

# 3

マダム・モーハの  
**占い館**  
今日の相談者  
潤亮助

スナック  
**えなり**  
ゲスト：浅谷唯

HOTEL SHE, 新副支配人  
藤田晃平



# 月刊 一辺境

ゲスト：翔子・すみた・えなり

巻頭  
特集

## HOTEL SHE, KYOTO 十周年記念対談

# HOTEL SHE, KYOTO 十周年対談

## 巻頭特集

HOTEL SHE, KYOTO は、2026年3月25日に創業10年を迎えます。

「ホテルはメディアである」という水星のアイデンティティとも言えるこの思想を、最も長く体現し続けてきた HOTEL SHE, KYOTO。前半は2019年のリニューアル当初からブランドを一緒に作ってきた角田貴広さんとともに、後半は HOTEL SHE, KYOTO 第二章を作ってきた現・統括マネージャーの岸えりなさんとともに、翔子さんとの対談の様子をお届けします！

— まずは、HOTEL SHE, KYOTO（以下、SHE, KYOTO）の発端からお伺いしたいなと。そもそも、なぜ京都の中でもこの東九条という街を選んだのでしょうか？

龍崎：

プロジェクトが動き出したのは、2015年の夏。北海道の富良野で #Petit hotel melon を立ち上げた直後で、私はまだ19歳の時でした。富良野では七海さんと2人でペンションを回していたのですが、そこで宿泊サービスとして無料のBARを作った時、偶然居合わせたゲスト同士が仲良くなる「ポジティブな予定不調和」がホテル内で自然発生し、旅の満足度を上げていることに気がつきました。その体験を持って地元の京都に戻り、土地探しを始めた時に出会ったのが、駐車場だった東九条の土地でした。独自のコミュニティや面白い文化の地層があるのに、誰にも発見されていない。その「乖離」がある場所こそ、火を灯すべき場所だと直感したんです。

角田：

「市場経済的な地価の高さとその土地の面白さは必ずしも比例しない」という視点ですね。翔子さんは、「ホテルが好きだから作る」と言うよりは「自分が欲しいものが世の中にないから作る」という思いを強く持たれているように感じます。

— そうして、「ソーシャルホテル」をコンセプトに2016年にオープンしたSHE, KYOTO。当時の内装は、今とかなり雰囲気が違いますよね。

龍崎：

当時はまだ「ソーシャルホテル」という言葉も手探りでした。床の中に石庭を押し込んだり、DJブースを置いたり。夜になるとショッキングピンクの照明を光らせて、あえて外から見ると「怪しいクラブ」に見えるようにしていたり（笑）今はない広大なシェアキッチンと交流スペースは、もともと37室作れる設計だったのをあえて3室分潰してつくりました。3室分の年間売上を概算すると約300万円。それを捨てるのは、経営判断としてもしびれる決断でしたが、ゲストハウスが持つ「ポジティブな予定不調和」をホテルという形態で実現するためにはどうしても譲れなかったんです。

— そして2019年に開業からわずか3年での大規模リニューアル。これが大きなターニングポイントになりますが、何が翔子さんを動かしたのでしょうか。

龍崎：

当時の京都はインバウンドが95%。稼働率は高かったけれど、利用動機は「安い」「近い」といった定量的なものばかりでした。その頃のお客様との良い思い出もたくさんできた一方で、「世界観を指名買ってもらおう」という、私たちが思い描いていたようなホテルにはまだまだ遠いという葛藤を感じることも多かったんです。そうこうしているうちに、京都駅の南エリアにもホテルが増えてきて価格競争が激しくなり、市場価格に振り回されるような状態になりました。長くこの事業を続けていくには、「安いから」ではなく「このホテルに泊まりたいから」予約して下さるようなホテルを作っていかなければならないと強く思っていました。

角田：

僕が初めて翔子さんに会ったのは、2017年のHOTEL SHE, OSAKA の開業のタイミングでした。当時僕はウェブメディアの運営や編集をやっていたのですが、翔子さんから送られてきたHOTEL SHE, OSAKA 開業についてのメディア向けリリースを見て、「こんな面白い人がいるのか！」と感じたことを覚えています。HOTEL SHE, OSAKA のオープンによって、自分たちのやりたかったことがやっと具現化でき、作りたいホテル像の解像度がすごく高まったことも、SHE, KYOTO のリニューアルを後押ししたのではないのでしょうか。

龍崎：

まさにです。それまで、「ソーシャルホテル」に対して「様々な人が集まって仲良くなれるような場所」というなんとなくのイメージしか持っていなかったのが、ただ「人と人」が交流するだけでなく、「人と街」「人と文化」「街と文化」、これらを媒介するメディアとして、ホテルがあるのだと思うようになったんです。今も私たちが常々掲げている「メディアとしてのホテル」という考え方が生まれた瞬間でもありますね。また光栄なことにHOTEL SHE, OSAKA のオープンをきっかけにHOTEL SHE, という名前を知っ

▼ 当時の内装



てくださる方が一気に増えて。「HOTEL SHE, OSAKA での宿泊体験がとてよかったから、次は京都にも行きます！」とおっしゃってくださる方も多かったのですが、2施設間で体験の質に大きく差が出てしまっていることにも大きな課題を感じていました。最初の投資回収も終わっていないタイミングでしたが、そういった経緯で「今やるしかない」という思いでリニューアルを決定しましたね。

角田：

HOTEL SHE, KYOTO のリニューアルの過程でも、水星が掲げる「メディアとしてのホテル」という考え方やホテル作りへの姿勢が、より強固になっていったと思います。単なる箱物としてホテルを作るのではなく、コンセプトや世界観を中心に据えて、そのアウトプットとしての体験や空間がホテルを作り上げている...水星の姿勢の原点でもありますね。今の「最果ての旅のオアシス」というコンセプトは、このリニューアルで生まれました。

ー「最果ての旅のオアシス」という言葉にこめた思いを教えてください。

角田：コンセプトメイキングは、言語化する前にまず視覚的な話からスタートしましたよね。Pinterest で僕たちの脳内にある空気感を集めて、「ユートピア」「この世とあの世の境」「仮初めの虚構」みたいな断片的なキーワードを繋ぎ合わせていく作業からスタートをしました。そうしたストーリーをだんだんと集約させていきながら、そのストーリーをカスタマージャーニーの中にどう落とし込むかを考えたときに、カラーコンテンツのアイスクリームが生まれたと思います。

ーKV（キービジュアル）も印象的ですよ。

龍崎：

普通、京都観光というと、京都タワーを背にして北へ向かいますが、京都タワーを北に見上げるこの構図は、「私たちの京都は南から始まっている」という決意の表明でもありました。KVに描かれている団地出身の友達が「自分の実家がTシャツになってる！」って喜んでくれたのも、良い思い出です。当時、まだ外から見落とされていた東九条の風景を、物語として肯定的に解釈して発信したい。そんな思いが、このKVには込められています。

ーリニューアル直後の2019年末、SHE, KYOTOを代表する企画の1つ「詩のホテル」が実施されました。

角田：

きっかけはX（旧Twitter）での偶発的な繋がりからでしたが、単に「詩が飾ってある部屋」ではなく、宿泊という体験そのものをデザインし

た、「ホテルはメディアである」という思想が、はじめて完全な形で具現化された企画だったように思います。「詩のホテル」を通して、通常のホテルの料金体系とは異なる値段設定の可能性や、現在私たちが「コンセプトルーム」と呼んでいるものの全体の流れみたいなものをひとつの型にしていっていったように思います。



▲コロナ禍で実施した、イラストレーターのたなかみさきさんとのコラボ企画



▲ホテルシェルター

ーそんな絶頂の中でコロナ禍が訪れるわけですが、HOTEL SHE, KYOTOにはどんな変化があったのでしょうか。

角田：

コロナで通常の観光業のあり方が全てストップしてしまったからこそ、いろんな実験を繰り返し、ホテルという箱の可能性を広げることができたと思っています。「詩のホテル」を通して具現化できた「ホテルはメディアである」という思想を、さらに別の形でどんどん展開して行くことができたのは、コロナ禍でポジティブに働いた部分でした。

龍崎：

コロナで打撃を受けていたのは宿泊や観光業だけではなく、自分たちが好きなアーティストたちがライブができなくなったり、

展示会が開けなくなったりしているのを見て、「ホテルという場所で個室を確保している状態ならしていただけることがあるのではないか」という発想から生まれたコンセプトルーム企画もありました。

他にも、家で安心して在宅できない人たちのための『ホテルシェルター』も想い出深いですし、今や水星の一つの事業部となっているエンタメ事業部の『泊まれる演劇』も、実はコロナ禍にスタートしています。リハーサルまで進んでいたタイミングでコロナが来てしまって、プロデューサーの花岡さんがものすごいスピード感でオンライン公演を企画し、脚本を書き直していた記憶があります。

角田：

HOTEL SHE, KYOTOを舞台に、ゼロになってしまったホテルを再度どうやって作っていったら良いかをホテルスタッフ含めてみんなで考えていましたよね。僕がその時感じたのは、ホテルという箱のポテンシャルの凄さです。3次元の空間をこんなに自由に実装できるって、メディアや編集をやってきた人間からすると、これほど贅沢な場はないと思いました。

龍崎：

ホテルでアパレルを売るとか、コンセプトルーム企画なんかも今は割とよくあることになっているかもしれませんが、こういった発想を「思いつき」で終わらず、持続可能なオペレー

例えば、アメリカ・カリフォルニアには、延々と続く長いロードサイドに突如としてホテルの看板が現れるといった景色がある。ロードトリップを続ける旅行者にとって、それはようやく見つけた安らぎの場所、つまりオアシスともいえる。



▲HOTEL SHE, KYOTO リニューアル企画書

ションとして磨き上げ、組織として価値を提供できる状態にするまでには、皆でこの時期にたくさん手探りで頭を悩ませて失敗も重ねていたと思います。今の HOTEL SHE, KYOTO の礎となる部分を作っていたのかもしれないね。

ホテルという波が激しく模倣も起きやすい業界の中で、10年続けるって本当に大変なことだと思いますが、こうして振り返ると停滞している期間がなくずっと前に進み続けられていることに驚きます。関わってくださっている皆さんの努力のおかげでしかないですね。

ーその後、岸さんが入社される直前の2021年の秋頃、社内では大きな変化が起きていたそうですね。

龍崎：

当時は香林居の開業プロジェクトが立ち上がるタイミングでした。当時は今ほどホテル開業へのナレッジも溜まっておらず、サービス設計もこれまでの施設から大きく異なる施設だったので、社内のリソースが香林居へ一気に集中していました。まだコロナ禍だったので、稼働的にも既存施設にそこまで人員を潤沢に配置するわけにもいかないし...とまさにそんなタイミングで、岸さんは入社されましたよね。



▲ 岸さんの新入社員時代に企画したイベント、ホテルのアメニティやグッズたち

岸：

確かに私が入社した当初は、今では考えられないくらい館内がガランとしていました。社員は私を含めて3人。ワンオペで現場を回す日も多かったので、1日誰とも話さないことがあり得るし、自分の頭で考えて自分から動かなければ何もせずに1日が終わってしまう、そんな環境でした。でも、入社直後に翔子さんと2人のご飯の席を作っていただけ、「今はこういう過渡期だからこそ、岸さんに HOTEL SHE, KYOTO を再構築してほしい」という期待を伝えてもらっていたんです。だから、「仕事は自分で作ればいい」というモチベーションで、前向きに働くことができました。

ー岸さんが入社後最初に取り組んだのは、どのようなことだったのでしょうか？

岸：

入社する際に感じていたのは、「これだけ素敵な内装やコンセプトがある場所なのに、京都の地元の人たちにあまり知られていないんじゃないか」というもどかしさでした。何より自分の友人たちにこのホテルの良さを知ってもらいたい！という気持ちが強かったです。

私は京都の大学出身だったので、大学を卒業してか

らも京都に住み続けているような活動をしている友人が周りにいました。水星に入社してから、そういった友人たちが HOTEL SHE, KYOTO のことを調べてくれたりアイスを食べに来てくれる機会も増え、一緒にホテルでコラボレーションできることを考えたりする機会が自然と増えました。

私が入社する前に開催されていたような大きな企画を自分の繋がりで考えていくことは難しくても、まずは自分の周りにいるローカルな繋がりで、京都で面白い活動をしている人たちと一緒にホテルを盛り上げていきたいと思い、宿泊プランの企画や単日のイベント企画からはじめて行きました。

龍崎：

メジャーなアーティストやクリエイターと組んで、全国からファンが遊びに来る...もちろんそれらも私たちがやりたいことの1つの形でしたが、岸さんが入社されるまでは、地域に根差したコミュニティにはまだ接続しきれていなかったように思います。フェスにアイスクリーム屋として出店したことも、岸さんが入社直後に提案してくれたものでしたよね。

岸：

はい。京都の南丹市の方で開催されている「スターフェスティバル」に出演していた友人に「アイスクリームがあったら絶対みんな嬉しいよ」と言われたのをきっかけに、ダメ元で当時の支配人だった中村さんに「出したいです！」とお願いしました。HOTEL SHE, KYOTO として外部イベントでのアイス出店実績はまだなく、当時まだ入社3ヶ月も経っていなかった頃に、プロデュース事業部の高見さんに相談しながら収支計画を作ったり、ブースを作るための設備を手配したり、試行錯誤していた記憶があります。

龍崎：

改めて、岸さんのジョインによって、HOTEL SHE, KYOTO のホテルとしてのあり方が「京都のローカルな空気感を発信する場所」へとアップデートされていったなと感じます。2019年のリニューアル直後は、Instagram で認知していただくことが多く、OTA ではなく SNS での「指名買い」を目指すことができていたと思うのですが、コロナ禍を経て、ホテル自体が「バズる」という文脈から外れていったように思うんですね。そんなタイミングで、ローカルの人と人の関係性の中でホテルをキュレーションして、リアル空間の中でホテルの魅力を発信していくことができるようになっていったのは、大きな進化だったように思います。

岸：

私がいつまでも京都に惹かれる理由は、ガイドブックに載っているような寺社仏閣などいわゆる「京都っぽい」風景ではなくて。そのことを特に顕著に意識したのは、コロナ禍が明けてインバウンドゲストの波が戻ってきた頃でした。市内にはどんどんホテルが増えて行くけ

▼ スタッフの出店。

当日は、大阪のスタッフだった松下さん、フ事の高見さんや木村さんなど事業部を超えてみんなで協力！晴天で大行列。





今月のお客様 **スナック えなり**

あさたに ゆい **浅谷 唯**



ママ まずは水星に入社する前のことを聞いてみたいのだけ。大学時代はどんな感じでしたの？

ゆい 大学では地元の大東大学の法学部に進学しました。特に法律の世界に対して特別な興味や夢があったわけではなく、将来やたな道に進みたくなっても対応できる、最も可能性を広げられるのは法学部か、最も結果、法学部を渡りました。

ママ なるほど、大学で探検以外に何か取り組んでいたことはあるの？

ゆい 学園祭の実行委員会に入っていました。百人以上が所属する大きな組織で、バザー団体の管理や、会場のお金を集めるのが大変だった。イベント運営の担当を任せてもらいました。

ママ 今もすっかり昔のイメージがあるから、想像ができるわ。リーダー的な役割は育ちかやっていたの？

ゆい 特に場を仕切ることが得意だったと思うんだけど、誰か一人でも、誰か一人でも物事が進まない状況を見るのが耐えられなくて、「じゃあ私がやっちゃおう」ということばかりしていました。

ママ 就職活動の時期は、まずキャリアアップの道を選んだのはなぜ？

ゆい 来てもあり「就活」を1つの軸にして将来を考えていました。時代的にもママエンジニアは強いられたなを思っていたのですが、その中でも前職は大手で研修制度が充実しており、「初心者歓迎」を謳っていたのが決め手でした。

ママ 水星への転職経緯を聞いていると破天荒なイメージがあったんだけど、水星に入社するまでは割と安定感があったのね。

ゆい そうですね。本当は「ノウハウを学ぶ道を選

ママ びたい」という気持ちはあったのですが、それを切り切れるほど強く煮られる選択肢を見つけていかなかったのかもかもしれません。

ママ 転職を躊躇し始めたきっかけを教えてください。私のパートナーが関西への転職が決まったことで、それまでなんとなんか過していた毎日を見つめ直す機会がありました。改めて考えると今の仕事や生活を十年後も続けたいのか……と疑問に思いました。転職を考慮するようにしました。転職活動を始め、転職を考えるようになって、以前宿泊した「香林居」での記憶だったので、そこから水星という会社に辿り着き、今に至ります。

ママ 応募するのを経験しているタイミングで、一度HOTEL SHE KYOTO LYOに泊らされたんですね。

ゆい そうなんです。岸さんと数田さんとお話させていただいたり、皆さんに背中を押されて選考に進むことへの決意を固めました。転職はまだ「考え始めた」くらい段階だったので、他に検討している企業もなかったのですが、実際に働いている人とお話しをする中でホテルで働くことへのイメージが薄れたことは大きな決め手でした。

ママ それぞれ入社から半年くらいになると思うのだけど、半年経ってみたいかい？

ゆい 運営陣理のほとんどを、ホテルの現場に自分自身で担っているというのにはやっぱり嬉しかったです。これまでの仕事は役割分担がキツキツを持ってランドを形作っているというのには、水星ならではの面白さだと感じます。

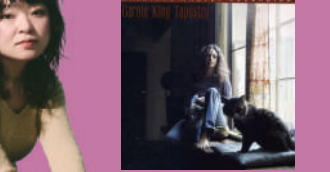
ママ 香林居チームの雰囲気なんかはどうかしら？

ゆい 水星に入社する前に宿泊した際のイメージでは、妖精のような人が集まっているのだからと想像していたけど(笑)、実際はみんな仕事に集中している。何より多岐を担って毎日業務に取り組んでいる方が多い

今月のママの一曲

可憐で美しい、けれどその奥に確かな強さを持つあなたに

「Tapestry」 - Carole King



▼ 大学時代。学祭当日の朝の一枚。



ママ なのと思います。これからやっていきたい仕事はある。香林居のショップの売上を伸ばすための仕組みづくりを強化していきたいです。香林居の独自プロダクトをもっと多くの方に手に取ってもらえるようなプラン作りや、ショップをただの「物売り」の場ではなく、ホテルの体験を自宅に持ち帰れる「物語の延長線」となるような店頭での体験設計に力を入れていきたいと考えています。

今月のお悩み相談 **潤 亮助さん**



花粉症が悩みです。マジで重症で毎年しんどいです。いまはまだ飛散量が少なめですが、これから5月末までの期間は、花粉が強まるほど自分のパフォーマンスは低くなっていきます。仕事もぼーっとするし、日常もぼーっとしてしまいます。いつも以上に考えや動きがスローワーになったりしいことがありません。目も痒いんで、顔を取り替えたりくなるのもこの時期の特徴ですね。

あなたの今のオーラ

むらさき

今月の予言

「もうそろそろあったかい飲み物飲まんくてもいいか」と思っははいけません。あと1ヶ月は飲みましょう。そうなければ体の不調が訪れます。また、新しい服を買うのもいいです。誰かに選んでもらったり、いつもは選ばない色を選んでみてください。潤さんは、くるぶしや足の付け根あたりが不調になりやすいのでご注意ください！

オーラが見える **マダム・モーハさん**



アレルギーって辛いですね。

私はまだ花粉症ではないのですが、それでもなんだか目がザラザラしたりするので、毎年だんだん強まってきている気がします。(色云々ではないのですが)最近、私の周りでは花粉対策の注射を打っている人が多く、その人たちがマスクなくてもへっちゃらな様子を見て、これはすごいなと思っていました。注射が怖くない場合はこの治療法もおすすめかもしれません！

そして、メガネをゴーグルにしましょう！潤さんのカラーは紫(+なんかしら色が混ざっているのですが、はっきりと見えない)なので、紫のゴーグルもありですね。スローワーになることで見つけられる発見もあるかもなので、バスの中でもぼーっとしながらも窓の外を眺めたりしてみてくださいね。

占い館



経営企画



KYOTO



OSAKA

OSAKA

スナックのママYUUMI



香林居

すべり部はみんな来た(ほうがい)



PRODUCE

高見さんの愛用スリッパ、バージョン2!!!!



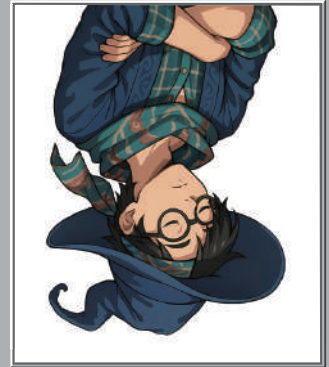
KUMOI



香林居

経営企画

ネタ切れ(写真とられ待ち)



SUISEI GALLERY 2025



ここは水星ギャラリーです。  
最近の近況をみなさんに報告しますか？

はい

いいえ



CHILLNN



PRODUCE

CHILLNN

祝! これからの1000年を紡ぐ企業に認定



KUMOI

インターン生との家族写真



エンタメ

ありがとうムーンリットアカデミー!



エンタメ



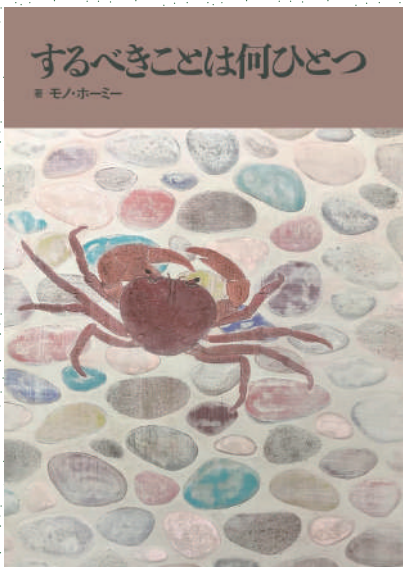
水星図書館へようこそ。

水星で働く私たちが日々の仕事や旅、暮らしの中で出会った本を紹介する選書コーナー。ビジネス書や小説、エッセイ、アートブックまで、ジャンル問わず「いま誰かに勧めたい一冊」をピックアップ。あなたの心に、新しい景色を届ける本と出会えますように。

本日のゲスト

# 中島 ことさん

1.



## すべきことは何ひとつ

モノ・ホームミー

つい長湯してしまうような本作りをコンセプトに、水に濡れても大丈夫な撥水性の紙を使用した「長湯文庫」という文庫シリーズ。超短編集は、軽すぎて味気ないと感じることが多いのですが、これはどのお話もなんだか不思議な後味を残します。一編一編の読後のふわふわ感に漂っていたくて、続けて読みたくないの、私にはお風呂より、夜寝る前用。

2.



パリのガイドブックで東京の町を闊歩する  
まだ歩きたくない (1)

友田とん

大学生の時に岡崎公園の葛屋書店で見つけて立ち読みしたら止まらなくなって最後まで読んでしまい、さすがに申し訳なくて購入した本。とんちきなようなこのタイトルの開きの展開が、なんだか面白くて心すくられます。2作目の「読めないガイドブック」も楽しみました!

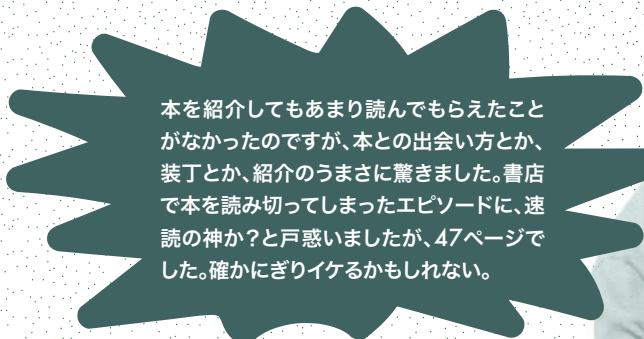
3.



トゥモロー・アンド・トゥモロー・アンド・トゥモロー

ガブリエル・ゼヴィン

セルビア出身アーティストの友達に勧められて英書で読み、すごいおもしろい!とくいくい引き込まれた作品。当時は訳されてなかったので、友人などにも共有できずもどかしかったのですが、いつの間にか日本語訳が出ていたので、誰かにぜひ読んでみてほしいです。(私は訳本は読んでいないので、日本語でも面白いのかは訳者の腕に掛かっています!)



本を紹介してもあまり読んでもらえたことがなかったのですが、本との出会い方とか、装丁とか、紹介のうまさに驚きました。書店で本を読み切ってしまったエピソードに、速読の神か?と戸惑いましたが、47ページでした。確かににぎりイけるかもしれない。



# Suisei Friends

## profile

-わたしの基本情報-

わたしの名前は **小川 なつみ**。  
 1999年1月22日生まれの25歳。  
 血液型はB型でみんなから **なつみちゃん** (おん) として呼ばれてるよ。休みの日は **車いす / パート** をしてるかな。普段は **香林居** のお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うと **マイペース** かな。よろしくね★



趣味 **キャンプ スポーツ 音楽**

特技 **引っこし**

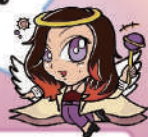
出身地 **福島**

マイブーム **(旧) シャンプー**

配属先 **香林居**

## My Favorites

-わたしの好きなもの-



食べもの <b>生ハム</b>	場所 <b>海山 長野</b>	ホテル <b>HOUSEHOLD, OMO</b>
音楽 <b>新ロマン (最近 SixTONES)</b>	本・雑誌 <b>なつみちゃん 夏村い</b>	映画 <b>ピエロ パーフェクト</b>
色 <b>あお / みどり</b>	お店 <b>スガハ</b>	有名人 <b>SnowMan SixTONES</b>

## MY BEST 3

- No.1 **ロマン**
- No.2 **セガ**
- No.3 **ファミマ**

## MY fave talk

★わたしの推しトーフ★

推しの名前は?  
 (モノ・人・ブランドなんでも!)  
**松村北斗君 (SixTONES)**

推しの好きなどころは?  
**フナエ**

推しのセールスポイントは?  
**顔が良くてです。**

## Questions

-じぶんについて答えてね-

今いちばん欲しいもの <b>北沢 ぴんぐ マグネット</b>	今いちばん行きたい場所 <b>瀬戸内海</b>
今いちばん泊まりたいホテル <b>SOIL Setoda</b>	今いちばんチャレンジしたいこと <b>確定拠出年金?の申請</b>
3年後の夢 <b>べりべり</b>	10年後の夢 <b>田舎が暮らさ</b>
最近の旅行の思い出 <b>出張</b>	学生時代の旅行の思い出 <b>クアジビ キャンピング</b>

## IF...!?

-タイムトラベルできるならいつの時代に行く?-

**いかにしていい。**

-あなたならどうする!?-

-なんでもひとつ能力を持てるとしたらなに?-

**時間 増やす**

-架空のキャラクターを現実世界に呼ぶなら誰?-

**29-3-9"**



# Suisei Friends

## profile

-わたしの基本情報-

わたしの名前は 有明 美穂 。

1993 年 9 月 12 日 生まれの 30 歳。

血液型は O 型でみんなから みほ って呼ばれてるよ。休みの日は サーフィン をしてるかな。普段は ホテル開発 のお仕事をしているよ。こんな私の性格を一言で言うと あらめ かな。よろしくね★



趣味 サーフィン	特技 スライダ語.	出身地 千葉
マイブーム さまーかチャンネル.	配属先 ポテト 事業部	

## My Favorites

-わたしの好きなもの-

食べもの あきやき	場所 海	ホテル あまみ Mijora
音楽 Youtaiin	本・雑誌 23歳大先輩の巻	映画 ロデオガザリング
色 ネイビー	お店 ease	有名人 博99 華2 大古.



MY ここに好きなテーマを入れてね

## 肉 BEST3

- No.1 ぶつてい
- No.2 ひき肉
- No.3 とりもも

## MY fave talk

★わたしの推しトーフ★

推しの名前は?  
(モ)・人・ブランドなんでも!!  
さまーかチャンネル

推しの好きなのところは?  
やさしい声

推しのセールスポイントは?  
誰も気づかないお笑い.

## Questions

-じぶんについて答えてね-

今いちばん欲しいもの <u>平陸の歌</u>	今いちばん行きたい場所 <u>タマザシ</u>
今いちばん泊まりたいホテル <u>Potato head</u>	今いちばんチャレンジしたいこと <u>登山</u>
3年後の夢 <u>水島のホテルを創業したいです!!</u>	10年後の夢 <u>海側で暮らしてる!</u>
最近の旅行の思い出 <u>インドネシアのバリ(1.サーサーガ)!</u>	学生時代の旅行の思い出 <u>ハワイ J Joshua Tree</u>

## IF...!?

-タイムトラベルできるならいつの時代に行く?-  
さくらんぼがおいしいとき

-あなたならどうする!?-  
なんでもひとつ能力を持るとしたらなに?-  
未来のうまみかきゆめを見たい

-架空のキャラクターを現実世界に呼ぶなら誰?-  
ボーン

